

飛躍

静岡県東部地域の活性化を考える

2014年度のあゆみ

 サンフロント21 懇話会 <http://www.sunfront21.org/>

■発行/2015年 5月26日
〒410-8560 沼津市魚町1番地サンフロント5F 静岡新聞社・静岡放送東部総局内 サンフロント21懇話会事務局 TEL.055-962-6520

 サンフロント21 懇話会

CONTENTS

● ごあいさつ	3
● 2014年度のあゆみ	4
● 特集Ⅰ ファルマバレープロジェクトと「人と動物の未来センター」の連携支援	6
● 特集Ⅱ コンベンション産業の推進支援	10
● 特集Ⅲ 新たな観光交流戦略の促進と支援	12
● 特集Ⅳ 広域防災の推進支援	14
● サンフロントから情報発信 ラジオEAST	16
新聞特集記事「風は東から」	17
● 2015年度活動方針	18
● サンフロント21懇話会会員名簿	20
● 運営委員長挨拶	27

ごあいさつ



サンフロント21懇話会
代表幹事
スルガ銀行社長

岡野光喜

2014年は、アベノミクス効果で消費トレンドが強まったものの、消費税増税が実施され、プラスとマイナス要素が入り交じり、せめぎ合った1年でした。GDP(国内総生産)が2四半期続けてマイナスとなり、消費税10%導入は延期となりました。

今年に入り、4月には円安による企業業績の回復により、東京株式市場で日経平均株価が15年ぶりに2万円を回復し、日本経済は再生に向けて一歩前進しました。ただ、地域経済や中小企業には株価上昇の恩恵はまだ及んでいません。足踏み状態の個人消費の改善がデフレ脱却のカギであり、経済全体の底上げが急がれます。

こうした経済サイドからの日本再生と並行して、安倍政権は「地域創生」に注力しています。この地域創生の中身は、サンフロント21懇話会が20年にわたり、官民一体となって取り組み、提言してきた「地域資源を活用した活性化策」の具現化、実現にはなりません。地域活性化は、その地に暮らす人間にとって当たり前の命題ですが、私たちの活動は政府に先んじた、有意義な取り組みだったと自負しています。当懇話会が設立20周年の記念事業に位置付けている「人と動物の未来センター」は、時代を先取りした事業といえるでしょう。

設立21年目となる2015年度の活動方針に掲げた「ファルマバレープロジェクトの推進」「広域連携の推進」「新たな観光交流戦略の促進と支援」は、県東部にとって、地域活性化の重要なキーワードであり、課題です。本年度も多くの有意義な提言、提案、支援ができますよう会員の皆様方のご支援、ご協力をお願いします。



静岡新聞社・静岡放送
会長

松井 純

サンフロント21懇話会は2015年度、設立21年目を迎えました。これまでの20年間、提言団体としての機能を存分に発揮し、11件に及ぶ提言を静岡県や関係自治体に提出してきました。ひとえに会員の皆様のご支援、ご協力のおかげです。ありがとうございます。

提言のうち、JR沼津駅北口の展示場・旧キラメッセぬまづは、当懇話会の提言が実現した代表例です。20年間の懇話会活動で貫き続けてきた考え方は「地域の人々が主役となり、地域に密着した、地域のための活性化策を提言する」ことでした。今後もこのコンセプトは不変です。これまで以上に県東部の活性化への取り組みを深めてまいります。

今年、世界遺産・富士山は登録3年目となり、6月には「韮山反射炉」(伊豆の国市)の世界遺産登録が濃厚になりました。9月には、伊豆半島の世界ジオパーク(貴重な地形や地質を楽しむ大地の公園)認定の可否が決まる見込みです。こうした世界に誇れる地域資源を交流人口の拡大につなげるとともに、貴重な地域資源を守り、育てる取り組みも並行して進めていきたいと考えます。

今年度は、懇話会活動の基本方針の実現に向けた活動テーマを4つ設定しました。その一つが「スポーツ産業の創出支援」です。サッカーJ3昇格を目指す地元のJFL「アスクラロ沼津」を応援して地域の一体感を高めるとともに、スポーツの持つ波及効果を多くの人々に実感してもらえ活動を支援していきたいと思えます。会員の皆様には従来にも増して地域への情熱を注いでいただけるようお願いする次第です。

東京大名誉教授
月尾 嘉男

「ガラパゴス日本からの脱却
-百年の転換戦略」



国土技術研究センター
国土政策研究所長
大石 久和

「公共事業という誤解
-インフラの正しい理解に向けて」



女優
浅田 美代子

「動物の愛護と福祉で
-真の成熟社会を目指そう」



浪曲師
春野 恵子

「春野恵子の浪曲一直線!」



照明デザイナー
石井 幹子

「光のまちづくり」



2014年度 活動方針

- ◇ ファルマバレープロジェクトと「人と動物の未来センター」の連携支援
- ◇ コンベンション産業の推進支援
- ◇ 新たな観光交流戦略の促進支援
- ◇ 広域防災の推進支援

◆ 2014年5月 活動記録「飛躍」発行

2013年度の活動内容をまとめた冊子「飛躍」(A4判、28頁)を発行した。総会、分科会の活動の足跡をはじめ、ファルマバレープロジェクトや広域連携の促進、各分科会などの活動を掲載。2014年度の活動方針も紹介した。

◆ 2014年5月20日 150人出席 総会

2014年度総会には、会員の企業経営者や首長、県議ら約150人が出席し、交流人口の増加などを目指す活動方針を決めた。記念講演は、東京大名誉教授で“ふじのくに”づくりリーディング・アドバイザーの月尾嘉男氏が行った。



◆ 2014年7月28日 200人出席 伊豆地区分科会

伊豆の国市で開かれた伊豆地区分科会には会員約200人が参加し、期待される伊豆縦貫道全線開通の効果や伊豆地区に求められる取り組みなどを探った。

基調講演は、国土技術研究センター国土政策研究所長の石井幹子氏が「公共事業という誤解-インフラの正しい理解に向けて」と題して、道路インフラの重要性を訴えた。パネル討論は「伊豆縦貫道全線開通に向けた地域の取り組み」をテーマにパネリスト4人が登壇し、それぞれの視点から伊豆縦貫道全線開通の意義を語った。

◆ 2014年11月11日 140人出席 東部地区分科会

懇話会が提言し、民間団体が同市内に建設を計画している「人と動物の未来センター」の実現に向けて動物の愛護と福祉の意義を考えた。

「動物の愛護と福祉で-真の成熟社会を目指そう」と題したトークショーには、動物の愛護、福祉活動に力を注いでいる女優の浅田美代子さんが登壇し、日本のペットを取り巻く実情や問題点などを語った。

パネル討論のテーマは「新たな地域創生-人と動物の共生施設を拠点に」。栗原裕康沼津市長、動物愛護プランを発表した衆院議員の牧原秀樹氏、愛犬と泊まれる宿を運営するベリークルーズ社長の高橋祐一氏、川崎市動物愛護センター所長の角洋之氏が登壇し、共生施設の存在意義や運営方法、課題などについて意見を交わした。

◆ 2014年12月15日 全体会

全体会は、クールジャパンの新たな旗手と呼ぶにふさわしい活動を国内外で繰り広げている浪曲師の春野恵子氏を迎え、「春野恵子の浪曲一直線!」と題した記念講演を行った。

◆ 2015年2月27日 140人出席 富士地区分科会

富士地区分科会を富士市で開いた。富士市の工場夜景を生かした地域づくりの可能性を探った。開催地を代表して、小長井義正富士市長は「全国工場夜景サミットの7番目の都市に表明した。市制50周年の平成28年(2016年)度にサミットを誘致したい」と意欲を見せた。

基調講演の講師は、世界的な照明デザイナーとして知られる石井幹子氏。「光のまちづくり」と題して、自ら手掛けた東京タワーなどのライトアップを紹介した上で、「富士市のポテンシャルは高い」と工場夜景の活用に関心を示した。

■ Topics

◆ 2015年2月

世界的な彫刻家流政之氏の石の彫刻をあしらった展望施設の完成式典(富士宮市主催)が同市猪之頭の田貫湖畔で行われた。県や市、市観光協会、猪之頭区の関係者ら約50人が、世界遺産富士山を一望できる湖畔に誕生した新名所に期待を寄せた。

彫刻は「FUJIMUKU SAMURAI(富士向くサムライ)」。高さ1.8m、幅80cm、重さ2tの黒御影石を用いている。世界遺産登録を受け、県東部の活性化策を提言する「サンフロント21懇話会」などが展望施設整備を支援した。

流氏は、2001年の米国同時多発テロで倒壊したニューヨークの世界貿易センタービルに設置されていた彫刻「雲の砦」の作者として知られる。静岡ゆかりの明治の元老・西園寺公望の教えで富士山の雄大さに感銘を受け、「逆さ富士」などで有名な田貫湖に映える彫刻を制作した。



ファルマバレープロジェクトの一環として懇話会が2011年に県に提言した「人と動物の未来センター」は、沼津市西浦地区に2015年度の開設を目指しています。これは人と動物の共生できる拠点づくりで、懇話会設立20周年の記念事業にも位置付けています。



■「人と動物の未来センター」イメージパース

「人と動物の未来センター」第1期整備がまもなくスタート

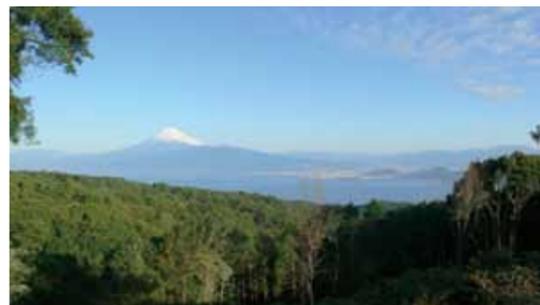
沼津市西浦の市有地に計画されている「人と動物の未来センター」は、実現段階に入っています。事業計画案として、

- ①動物福祉を推進する事業
- ②人材育成・情報発信事業
- ③動物愛護の思想の向上と動物との共生を推進する事業

の3つが予定されています。

1期工事では、獣医師・動物看護師の研修施設、犬舎・猫舎などからなる動物保護施設、ドッグラン、展望カフェ、駐車場などができる予定です。

この施設ができることで、同センターの人脈を生かした動物愛護や獣医学関連学術組織、起業、団体の研修、会議、展示会などのコンベンション誘致、着地型の体験、交流ツアーの開催などが期待されています。



■展望カフェ予定地からの遠望



東部地区分科会「人と動物の未来センター」始動

東部地区分科会 2014.11.11

テーマ：
「新たな地域創生—人と動物の共生施設を拠点に」

東部地区分科会は、動物愛護活動家として知られる女優の浅田美代子さんのトークショーに続き、「新たな地域創生—人と動物の共生施設を拠点に」をテーマにパネル討論を行いました。

○パネリスト

沼津市長	栗原裕康氏
衆議院議員	牧原秀樹氏
ベリークルーズ社長	高橋祐一氏
川崎市動物愛護センター所長	角 洋之氏



■栗原氏 ■牧原氏 ■高橋氏 ■角氏

○進行

企業経営研究所常務理事 中山 勝氏
(サンフロント21懇話会シンクタンクTESS研究員)



■中山氏 ■熱心な議論が交わされたパネル討論

パネル討論要旨

栗原市長は「家族としてペットを飼う人が増える一方、身勝手な飼育をする人も多い。センターは動物愛護の教育的場になり、観光の起爆剤にもなる」と力を込めました。

ペット同伴の旅館などを県内外で展開する「ベリークルーズ」の高橋社長は、未来センターについて「開設よりも継続が課題。この施設に行かなければならないと思わせる施設にする必要がある」と指摘。13年度、犬の殺処分ゼロを達成した川崎市動物愛護センターの角所長は「助けられる命は助けようと活動を続けてきた。飼い主に対する動物の適正飼養の啓

発が重要」と訴えました。

環境大臣政務官として犬猫の殺処分ゼロを目指すアクションプラン「牧原プラン」を発表した牧原秀樹衆議院議員は「殺処分を大幅に減らす方法を、国はしっかりと示す必要がある」と課題を語りました。

ドイツ「ティアハイム（動物の家）ベルリン」を取材

「人と動物の未来センター」建設に関連し、静岡新聞本紙では動物愛護先進国といわれるドイツの取り組みを取材しました。

○記事要旨

ベルリン郊外にある欧州最大の動物保護施設「ティアハイム（動物の家）ベルリン」。総面積は16ヘクタール。20棟以上の動物舎に、捨てられたり、はぐれたりした犬や猫、鳥のほか、馬や羊、ヘビなど約1500匹を収容している。年約700万ユーロ（約9億8,000万円）の運営費のほとんどは寄付金で賄われている。

ドイツには日本のようなペットショップはなく、犬や猫を飼う場合はブリーダーや保護施設から譲り受けるのが一般的。ティアハイムには、9人の獣医師と10人

ほどの動物看護師がローテーションで常駐している。保護期間に期限はなく、動物は新たな飼い主が見つかるまでここで過ごす。治る見込みのない病気で安楽死させる以外は殺処分をすることはない。



■ドイツのティアハイム



「健康増進・疾病克服」「県民の経済基盤の確立」を両輪に、世界一の健康長寿県の形成を目指すファルマバレープロジェクト。始動から14年が経ち、今年新たな局面を迎えます。研究開発を加速させ、新規参入から製品化、販路拡大までを一貫して支援する新拠点施設の整備が進んでいます。

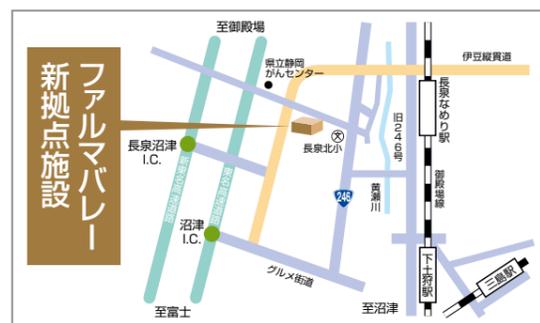


■ファルマバレー新拠点施設の外觀イメージ

大手開発・生産部門の入居が決定

新拠点施設は旧長泉高校の校舎・体育館を改修し、新たに3棟を建設します。「プロジェクト支援・研究ゾーン」「リーディングパートナーゾーン」「地域企業開発生産ゾーン」の三つで構成され、敷地面積は約4万3000平方メートル、旧長泉高校の校舎などをリニューアルし、新しく三つの建物も造る。延べ床面積は約1万7000平方メートルです。東名沼津インターから車で2キロほどの好立地で、臨床現場である静岡がんセンターとも目と鼻の先。ここからどのような成果が生まれるのか、周囲の期待も高まっています。

新拠点施設には、すでに公募によりテルモMEセンター（ME:メディカルエレクトロニクス）と東海部品工業の入居が決まっています。テルモMEセンターは体温計などの生体計測関連や輸液ポンプ関連商品、超音波画像診断システムなどの開発・生産を、また東海部品工業は主に骨プレート、人口股関節などチタン合金製のインプラントの開発製造を行います。



この夏から入居者を募集

県は今年夏ごろから新拠点施設への入居者を募集します。進出が期待される企業・機関は次の通りです。



■展示スペース イメージ

【研究室・実験室】

- ・静岡がんセンターが手掛けるゲノム医療分野や免疫治療研究を活用した医薬品開発、医療生活支援ロボット、チタン合金など生体適合素材を活用したインプラントの開発などに関連する企業
- ・リーディングパートナーや進出企業と連携して、オープンイノベーションの中で研究開発を行う意欲のある企業
- ・鍛造、切削などの特殊加工技術、チタンや炭素繊維などの特殊素材など、医療分野に技術や素材

- を提供できる企業
- ・ISO、QMSなどの品質管理を十分に理解する企業

【レンタルオフィス】

- ・知的財産、薬事を専門とするコンサルタント
- ・医薬品・医療機器製造販売会社
- ・第三者認証機関
- ・企業グループ（共同受注体など）
- ・支援機関（商工団体など）
- ・治験支援機関 など

全国から高評価

同プロジェクトはさまざまな分野で高い評価を得ています。

<全国1位> ふじのくに先端医療総合特区評価
医療関連製品の開発実績や国の支援措置の効果的な活用等の取り組みが高く評価され、国の総合特区評価・調査検討会より2年連続で「A評価、点数5.0」という最高評価を受けました。

<最高「S」評価> 沼津高専の技術者養成講座
文部科学省の助成により沼津高専が実施した「富士山麓医用機器開発エンジニア養成プログラム（F-met）」が、事後評価で最高のS評価を得ました。

<全国1位> 医薬品・医療機器生産金額
厚生労働省が発表した2013年の医薬品・医療機器の合計生産金額で、静岡県は4年連続で全国1位となりました。

<全国2位> 静岡がんセンターが選出
ダイヤモンド社が発表した、がん治療に強い病院ランキングにおいて、首都圏の大病院をおさえ静岡がんセンターが全国2位に選ばれました。

伊豆かかりつけ湯が「ヘルスツーリズム大賞奨励賞」を受賞

2003年、伊豆地区分科会で静岡がんセンターの山口建総長が提唱した「かかりつけ湯」。現在、伊豆全域に約50軒が加盟し、ウェルネスと連携した新たな観光として徐々に広がりを見せています。14年度は、温泉で体の手当て法を学ぶセルフケアセミナーと加盟宿6軒の湯めぐりを楽しむ「からだの勉強会」がクラブツーリズムのバスツアーとなり、首都圏から約250人を呼び込みました。こうした活動が認められ、NPO法人ヘルスツーリズム振興機構の「第7回ヘルスツーリズム大賞奨励賞」を受賞しました。



■「第7回ヘルスツーリズム大賞奨励賞」を受賞

東部地域のにぎわいの拠点としてサンフロント21懇話会が提言し、実現した旧キラメッセぬまづの開業から17年。昨年7月、県の国際会議場が開業し、民間ホテルと合わせていよいよ複合型の大型コンベンション施設「プラサヴェルデ」が沼津市にお目見えしました。施設整備費約200億円、総延べ床面積約4万平方メートル。すでに各種全国大会や学術会議が開催され、地域に新たなにぎわいを生み出しています。

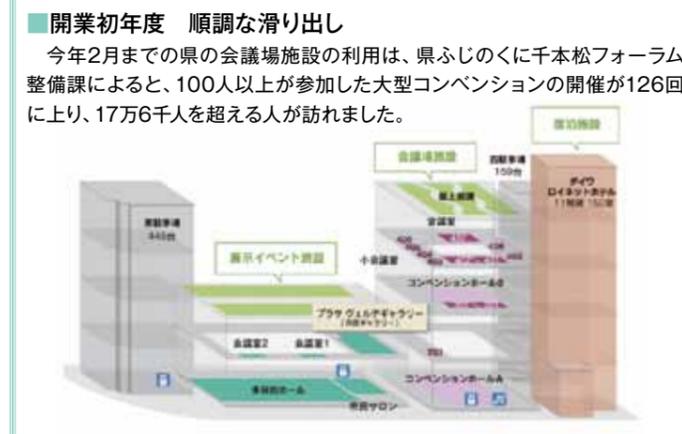


■展示場・国際会議場・ホテルがそろうプラサヴェルデ外観(上)とホール(下左)、屋上庭園(下右)

地元との連携密に



■プラサヴェルデの周囲はホテルが次々に進出(中央がプラサヴェルデ)



■プラサヴェルデ 全体構成図

■開業初年度 順調な滑り出し
今年2月までの県の会議場施設の利用は、県ふじのくに千本松フォーラム整備課によると、100人以上が参加した大型コンベンションの開催が126回に上り、17万6千人を超える人が訪れました。

プラサヴェルデのグランドオープンを見据え、JR沼津駅北口へのホテル進出が相次ぎました。現在では、常時約2,000室を確保できる体制が整っています。

沼津市は市内の宿泊、飲食、運輸関連の団体を中心に「プラサヴェルデ連絡会」を立ち上げており、プラサヴェルデでのイベント情報を共有し、広く活用法を議論しています。こうした中から、周辺飲食店のランチマップや、コンベンション参加者向けのタクシーの定額料金なども検討されました。

そんな中、新しい公共施設の活用も提案されています。沼津市内の若手有志の発案で、「プラサヴェルデウエディング」が開催されました。沼津駅前という好立地と、県産材を用いた高級感ある空間を生かした企画

で、施設にある250インチの大型高画質プロジェクター、音響設備などもフル活用し、式の出席者に施設の魅力を発信します。宗教色のない人前結婚式で、約150人の披露宴が可能。衣装やメイク、料理をはじめ音響や花、新婚旅行まで、必要な準備は市内の事業者が「プラサヴェルデウエディングクラブ」を組織して担っています。



■プラサヴェルデウエディングの一コマ

グランドオープンに15,000人

グランドオープンには「フラワーデザイン国際競技会・アジアカップ2014」が開催されました。日本での開催が16年ぶりとなる同大会は、世界トップクラスのフローリストが展示競技・ステージ競技など計5種目のフラワーデザイン競技を行うもので、本開催では9つの国や地域から16人のフローリストが参加し、技を競いました。2日間の期間中、約15,000人が来場しました。



■フラワーデザイン国際競技会の様子

視野の広げ方に工夫を

サンフロント21懇話会シンクタンクTESS
中山 勝 研究員(企業経営研究所常務理事)



旧キラメッセぬまづの理念である「日本一親切で使いやすい施設」をプラサヴェルデ全体で踏襲しているのが大きなポイントになる。利用者が「本当によかった」と口コミで広めてくれるレベルでなければ、あえて地方都市でコンベンションを開催する意味はない。オープンして1年がたったから評価するのではなく、走りながら日々点検することも必要だ。

地域の皆さんには積極的に関与してほしい。沼津港深海水族館や伊豆市のペロドロームなどでのユニークベニュー(※)はもちろん、たとえば沼津仲見世商

店街なら何ができるのか。福岡はコンベンション参加者向けのパーティーを商店街で開催している。仙台ではコンベンションビューローの会員が自ら伊達正宗を巡るツアーなどを企画している。沼津なら我入道の渡しを使った仕掛けもいじらう。地元のこの施設を使えばこんなことができるというのを、地域自らが考えれば、まだまだ可能性は広がるはずだ。

※ユニークベニュー 歴史的建造物や公的空間などで、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場。

富士山の世界文化遺産登録や伊豆半島ジオパークの世界ジオパーク認定を目指す取り組みなど、身近な地域資源を世界的視野で戦略的に活用する機運が高まっています。また、2014年度に発足したサッカーJ3はホームチームの支援による地域の一体感の創出など波及効果も高いため、スポーツでの市町連携を支援していきます。



■ベロドロームでの国際大会の様子(「Kenji NAKAMURA/JCF」)

スポーツで地域を活性化

2019年のラグビーワールドカップ(RWC)、翌20年の東京五輪・パラリンピック開催が決定し、このチャンスを地域の活性化につなげようとする動きが全国各地で加速しています。静岡県も14年4月にスポーツ交流を推進する部門を設置。観光やスポーツ振興部門と連携し、RWC開催会場の静岡県招致や五輪事前合宿誘致などの取り組みを推進しています。

伊豆市ではベロドロームでのオリンピック自転車競技開催の可能性が出てきました。県内では県が事前合宿の意向を調査。県内35市町のうち28の市と町が合宿誘致の意向を示しています。人気種目はサッカーで、7つの自治体が手挙げ。また、水泳は競泳などの全日本合宿などの実績のある県富士水泳場が手挙げしています。

14年1月には、伊豆・東部地区の企業と行政、団体が連携し、スポーツ産業の創出を図る「県東部地域



■県富士水泳場

スポーツ産業振興協議会」が発足しました。その一環で、自転車文化を根付かせようとサイクルラックのデザインコンテストが行われ、



■サイクルラック優秀賞

伊豆半島ジオパーク「世界に向けた挑戦」

世界ジオパーク加盟を見据え、伊豆半島ジオパークは世界推薦に係る国内現地調査を昨年7月に受けました。審査を務めた日本ジオパーク委員会からは「地質を生かしたレベルの高い活動に取り組んでいる」と高い評価を受けています。

一方で、

- (1) 外国人を意識したジオツーリズム対応
- (2) 伊豆半島全体の成り立ちと各ジオサイトの関連付け
- (3) 世界ジオパークネットワークに対する貢献の明確化
- (4) 伊豆半島ジオパークが一体であるという意識の醸成などの課題も浮き彫りになりました。

夏の書類審査、現地調査を経て今年9月には世界ジオパークへの加盟の是非が決まる予定です。

また、来年9月には第7回日本ジオパークネットワーク

の全国大会が伊豆半島で開かれることが決まりました。詳細な日程や内容などはこれからですが、これまでの大会では、3～4日にわたって基調講演、分科会、活動発表、ジオサイト視察などを行っており、全国から関係者約1,000人が参加する見込みです。



■海から見るダイナミックな岩脈

富士地区が挑む新しい観光の形

富士地区分科会 2015.2.27

テーマ:

「夜景による地域創生」

○パネリスト

富士市長	小長井義正氏
富士工場夜景倶楽部会長	鷺見隆秀氏
静岡県地域づくりアドバイザー	花井孝氏
照明デザイナー	石井幹子氏

○進行

静岡経済研究所常務理事	大石人士氏
-------------	-------

パネル討論要旨

鷺見会長は工場夜景に着目した動機やこれまでの活動を紹介、小長井市長は「民間が主導する取り組みが発展するよう行政も支援していく」と語りました。花井氏は岐阜県美濃市の「和紙あかりアート展」を例に「煙突のライトアップを本気でやれたら素晴らしいアート作品になる」と訴え、石井氏は「古い工場などを活用して光のミュージアムをつくり、アーティストに来てもらったらどうか」と提案しました。

富士地区分科会は、世界的な照明デザイナーの石井幹子氏が基調講演を行い、続いて富士市の工場夜景を生かした観光や地域振興の可能性と課題についてパネリストが意見を交わしました。



■小長井氏

■鷺見氏

■花井氏



■石井氏

■大石氏

■富士の工場夜景を紹介したパンフレット



年間4000万人近い観光客が訪れる伊豆半島では、地域住民の安全のみならず観光客の救助という大きな使命があります。安全・安心をうたう観光地になるために地域全体の防災力強化が問われています。広域防災の意識高揚をこれまで以上に推進し、同時に大規模災害への対応力向上の必要性をあらためて訴えていきます。



■「内陸のフロンティアを拓く取組」は、「ふじのくに」発の新しい日本のグランドデザインだ（イラストはイメージ図）

防災・減災と地域成長を両立「内陸のフロンティアを拓(ひら)く取組」

2012年、新東名高速道路が開通し、今まで中山間地域と言われていた内陸部にサービスエリア(SA)やインターチェンジ(IC)ができ、発展の核になる可能性が出てきました。また、南海トラフ巨大地震に伴う津波の想定高が発表されると、今まで経済発展してきた沿岸・都市部から高台に移転する動きが顕在化。津波対策を最優先に沿岸部の空間を再生し、より暮らしやすい地域づくりが求められています。

そこで県は防災・減災を図りながら、内陸部、沿岸部ともにバランスの良い地域づくりを目指そうと「内陸のフロンティアを拓く取組」を進めています。14年4月には「内陸フロンティア推進区域」制度を創設。すでに、県内17市町37区域が指定を受けました。

推進区域を指定する基準は、(1)「防災・減災」

と「地域成長」の両立を図る取組であること(2)現行法令の枠組みの中で進められること(3)実現性が高い地域であること(市町が策定した構想に位置付けられている、14年から4年以内に事業実施が見込まれる、官民一体の推進体制が整っている)の3点です。

調査費の補助	推進区域における市町の取り組みを具体化する調査などへの助成 補助率:1/2、上限額:250万円
企業立地補助金の拡充	市町と連携して、推進区域に新規に立地する企業の用地取得費の補助率などをかさ上げ
工業用地整備を市町と連携支援	企業局や市町公などが行う工業用地の整備のうち、市町が負担し整備する公共施設整備(新規に限る)に助成
中小企業への金融支援	推進区域に立地する中小企業が行う土地の取得、建物・設備投資に対する融資 融資利率:1.4%(利子補給率0.67%) 融資限度額10億円、融資期間15年(据え置き5年)

■内陸フロンティア推進区域に対する支援

「内陸のフロンティアを拓く取組」東部の事例

東部では沼津市、三島市、伊東市、富士市、御殿場市、裾野市、東伊豆町、長泉町、小山町の9市町18区域が指定され、全体の約半数を占めています。

○東伊豆町「稲取高原特色を生かした観光地づくり推進区域」

既存の広場を活用し、地域住民のレクリエーションや滞在型観光の拠点となる憩いの広場の整備や、観光資源の情報発信の強化により交流人口の拡大を図る。有事の際には、仮設住宅や自衛隊宿営地などに活用する。

○長泉町「長泉沼津IC周辺物流関連産業等集積区域」

長泉沼津IC周辺に近接。広域交通網の結節点としての良好な交通条件を活用し、農畜産物の加工や惣菜の製造のほか、県内イオングループ各店舗への配送を行う「イオン長泉プロセスセンター」の建設が進んでおり、地域の新たな雇用創出が期待されている。

○富士市「田子の浦港周辺防災対策・にぎわい創出推進事業区域」

田子の浦港周辺住民および進出企業と一緒に防災対策(津波浸水ゼロを目指す)を推進しつつ、県営ふじのくに田子の浦みなと公園や田子の浦港を活用した新たなにぎわいゾーンを創出する。



■イオン長泉プロセスセンター

伊豆縦貫道の日も早い全線開通を

伊豆地区分科会 2014.7.28

テーマ:
「伊豆縦貫道全線開通に向けた地域の取り組み」

○パネリスト

国土交通省沼津河川国道事務所長	野坂周子氏
伊豆市長	菊地 豊氏
下田商工会議所会頭	田中 豊氏
長崎県松浦市長	友広郁洋氏

○進行

シード副社長 青山 茂氏
(サンフロント21懇話会シンクタンクTESS研究員)

パネル討論要旨

野坂氏は東駿河湾環状道開通後の周辺国道の渋滞減少などの変化を紹介し、「伊豆を訪れるマーケットが広がってきている」と述べました。菊地氏は伊豆縦貫道が巨大地震発生時、迅速に緊急輸送路を確保する「伊豆版くしの歯作戦」の南北方向の軸になっている点に触れ、「一日も早く全線を開通させなければならない」と語り、田中氏は「全線開通すれば、経済や防災などすべての

伊豆地区分科会では期待される伊豆縦貫道全線開通の効果や伊豆地区に求められる取り組みなどを探りました。



面で問題解決の糸口になる」と期待を見せました。また、福岡、長崎、佐賀の各県を結ぶ西九州自動車道の整備推進に取り組む友広氏は、事業推進に向けた官民の要望活動の状況を説明し、「地元の熱意が重要」と強調しました。

ラジオ EAST

<http://www.at-s.com/sbsradio/program/east/>

SBS ラジオ 毎週土曜日
11:00 ~ 12:55

サンフロント21懇話会が母体となり、東部・伊豆の地域情報を2時間にわたりお届けする「Radio*East」。清水町の大型ショッピングセンター、サントムーン柿田川内に開設されたサテライトスタジオ「LISPA」は東部・伊豆の情報発

信、文化創造拠点としてにぎわいを見せています。

番組恒例の公開放送は全部で6回。各地のイベントや魅力スポット、地元でしか食べられないご当地グルメ情報などをお送りしています。



ラジオ EAST ホームページ

ホームページでは、番組で取り上げた話題を写真とテキストで紹介しています。「EAST食べちゃうぞ!」や「温泉へ行こう!」など、各コーナーはバックナンバーも充実。東部・伊豆にお出かけの際はぜひご利用下さい。

URL <http://www.at-s.com/sbsradio/program/east/>



新聞特集記事「風は東から」

<http://www.sunfront21.org/>

静岡新聞東部版・朝刊
毎月 第4日曜日掲載

東部地域の活性化に向けたさまざまな取り組みや、サンフロント21懇話会の活動の一端を毎月1回、新聞紙上で紹介する「風は東から」。

連載17年目を迎え、去年はファルマバレープロジェクトの新拠点施設の概要や、伊豆半島ジオパークの、世界ジオパーク加盟に向けた取り組みなどを取り上げました。



新聞特集記事「熱き地域人」

本紙に連載。地域振興に取り組む懇話会会員の「熱き思い」をインタビュー形式で紹介しています。

サンフロント21 懇話会 ホームページ

サンフロント21懇話会活動がひと目で分かるホームページ。懇話会の設立趣旨・沿革をはじめ、新聞「風は東から」のバックナンバーや、1年間の活動をまとめた冊子「飛躍」などが閲覧できます。

URL <http://www.sunfront21.org/index.html>



官民一体となって東部地域の活性化を図る「サンフロント21懇話会」の活動は、今年度で21年目を迎えました。

昨年、安倍政権は、地方創生を重要政策に据え、本格的に推進する体制を強化しました。その中身は、各地域がそれぞれの特徴を生かした自立的で、持続的な社会を創生する支援が柱となっています。これはサンフロント21懇話会が20年間、取り組んできた活動といっても過言ではありません。今後、ますます当懇話会の活動は重要性を増していくと思われまます。

これまでの活動と東部地域の特長を踏まえ、今後、中長期的な視点から取り組むべき支援、提言活動は▽広域連携の推進▽新たな観光交流戦略の促進と支援▽ファルマバレープロジェクトの推進一と考えます。

以上を当懇話会活動の基本方針と定め、以下の4項目を基本方針の実現に向けた今年度の活動テーマとしました。

■ 「人と動物の未来センター(アミティエ沼津)」の開設支援

当懇話会が2011年度、静岡県知事に提言した「人と動物の未来センター」は、沼津市西浦の市有地を建設地として実現段階に入っています。

行き場のない犬・猫を引き取り、健康をチェックした後、一定期間飼育し、しつけや教育をして新たな飼い主に譲渡する活動のほか、獣医師・動物看護師の研修・教育なども行う、民間による国内初の“動物の愛護と福祉の総合センター”です。当懇話会は設立20周年の記念事業に位置付けています。

「ペット同伴観光の先進地」や「動物飼育マナー日本一のまち」を実現する拠点となり、学会や動物の愛護イベントの開催などを通じ、交流人口の拡大に寄与することが期待されます。当施設の意義や将来性、波及効果などを積極的に発信し、開設後を見据えた動物愛護ボランティアのネットワーク化活動を支援します。また動物との触れ合いによる癒やし効果の探求など、ファルマバレープロジェクトとの連携を探ります。

■ 世界遺産を守り、育てる支援

今年、世界遺産・富士山は登録3年目を迎えます。構成資産の保全と活用のバランスを考慮した「世界遺産を守り、育てる」という地域住民の意識を高める活動を展開します。今年、6月に韮山反射炉(伊豆の国



市)が「明治日本の産業革命遺産」として、世界遺産に登録される見通しとなりました。9月には伊豆半島ジオパークの世界ジオパーク認定の可否が決まります。こうした世界に誇る地域資源の「登録・認定」効果により、増加する観光客や来訪者への対応は、地元自治体だけでなく、東部の全市町がスクラムを組んで取り組む重要な課題です。例えば、富士山の構成資産と伊豆半島のジオサイト、韮山反射炉を組み込んだ周遊コースの策定や富士山の軽登山体験と温泉・美食を組み合わせたツアーの実施など、地域の特性を生かした高付加価値の受け入れ態勢を充実させる必要があります。

■ スポーツ産業の創出支援

当懇話会は、スポーツが持つ地域へのさまざまな波及効果に着目しています。中でもサッカーのJ3への参入を目指すJFL「アスクラロ沼津」は、東部地域におけるスポーツ産業発展の重要な礎の一つであり、引き続き支援をしていきます。

昨年1月、伊豆・東部地区の企業と行政、団体が連携し、スポーツ産業の創出を図る「県東部地域スポーツ産業振興協議会」が発足しました。スポーツイベントの企画や実施、2020年の東京五輪をにらんだ合宿誘致などスポーツ産業を事業として軌道に乗せるには激しい地域間競争を勝ち抜く必要

があります。そのためには伊豆半島ジオパークと同様、伊豆・東部地域の市町連携が不可欠です。その醸成を促す活動を展開します。

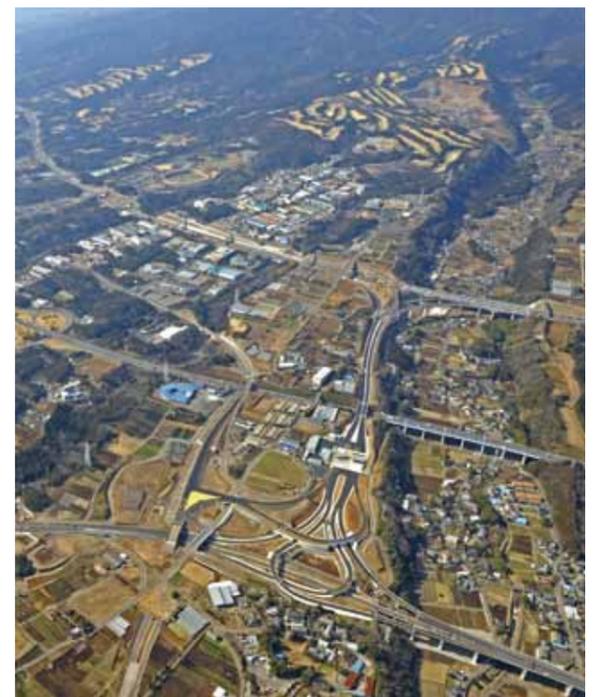


■ 社会資本(インフラストラクチャー)の整備推進

東部地区の一体性や回遊性を高める社会資本の整備促進を訴えます。伊豆縦貫道、沼津市の鉄道高架化事業といった交通、都市インフラ整備の重要性を地域住民により強く認識してもらえらる啓発活動を展開します。

観光誘客は交通の定時性の確保が競争力を高めます。年間4000万人近い観光客が訪れる伊豆半島では、地域住民だけでなく、観光客の安全・安心の確保は使命です。大規模地震発生時の救命・救援ルートの確保は、伊豆縦貫道の全面開通が不可欠です。事業化が決まっていない天城越え区間の計画段階評価への着手、さらに東駿河湾環状道路の西区間(沼津市岡宮～沼津市原、延長7.9km)の早期整備を訴えます。

交通インフラと同様、情報通信インフラの整備も観光・防災両面における喫緊の課題です。県が今年の夏山シーズンまでには富士山頂付近に整備するという無料Wi-Fi(公衆無線通信)設備を、富士山麓、伊豆半島全体にも早期に広げる必要があります。



会員名簿

● 会員 (2014年度)

氏名	会社名	役職
愛屋 博司	プラサヴェルデ	館長
青山 茂	(株)シード	取締役副社長
赤堀 肇紀	赤武エンジニアリング(株)	代表取締役社長
秋元 久則	(有)静岡ビジネスサポート	代表取締役
秋山 勇雄	静岡新聞社	常務取締役
秋山 佳彦	(株)秋山機器	代表取締役社長
揚野江利子	揚野法律事務所	
浅田 徹	(株)静岡伊勢丹	代表取締役社長
浅羽 愛子	あさば旅館涵翠閣	代表取締役
芦川 勝年	沼津市商店街連盟	会長
足立 吉松	足立会計事務所	所長
安達 行彦	静岡県下田土木事務所	所長
阿部 欣成	富士通(株)沼津工場	工場長
飯田 悦郎	飯田工業薬品(株)	代表取締役
伊海 剛志	(株)イカイ	代表取締役社長
井口 賢明	あさひ総合法律事務所	所長
池田 誠	池田病院	院長
池谷 洋一	静岡県東部健康福祉センター	所長
石井 大介	(株)富陽軒	代表取締役
石井 文弥	東海自動車(株)	代表取締役社長
石井 誠	(株)石井組	取締役社長
石川 三義	社会福祉法人春風会	理事長
石川雄一郎	石川建材工業(株)	代表取締役社長
石川 征雄	(株)ミツイシ	代表取締役
石塚基一郎	静岡県沼津土木事務所	所長
石戸 安伸	静岡県東部農林事務所	所長
石間 尚雄	(株)TOKAIケーブルネットワーク	常務取締役
伊丹 秀之	(有)松韻	代表取締役社長
伊藤 高義	富士川まちづくり(株)	代表取締役社長
伊東 哲夫	伊東法律事務所	所長
伊藤 充宏	静岡放送	報道局長
稲田 精治	三島信用金庫	理事長
稲葉 常宏	スルガ総合保険(株)	代表取締役社長
稲葉やす子	静岡県総合健康センター	技監
稲葉 良司	(一社)伊東観光協会	副会長
井上 俊	(株)大村総業	代表取締役社長
井上 靖	ダイワロイネットホテルぬまづ	支配人
岩田 均	SBS マイホームセンター(株)	取締役社長
植草慎一郎	(株)康報社植草新聞店	代表取締役社長

氏名	会社名	役職
上田 和佳	(株)JTB 中部沼津支店	支店長
植田 勝智	(公財)静岡県産業振興財団ファルマバレーセンター	所長
上野 充史	(株)エム・エス・エス	総務・経理部長
植松 恒裕	静岡新聞社	編集局長
植松 眞	(株)トーヨーアサノ	代表取締役
臼井 良太	白幸産業(株)	代表取締役
宇田川 茂	(株)伊豆フェルメンテ	代表取締役社長
内田 豪	(株)ダイナナ	代表取締役社長
内田 進	熱海商工会議所	会頭
内田 繕博	(医療法人社団) SEISEN 清泉クリニック整形外科	院長
内野 敏太	大岡建設工業(株)	代表取締役
内山 義郎	スルガ銀行(株)	常務取締役
宇野 統彦	(株)桃中軒	代表取締役会長
梅本 和熙	南伊豆町	町長
漆畑 昌宏	静岡放送	ラジオ局長
海野 和雄	静岡ガス(株)東部支社	常務執行役員東部支社長
遠藤 茂美	日本ガス興業(株)	代表取締役社長
遠藤 忠男	(有)遠藤新聞舗	代表取締役
遠藤 敏東	富士商工会議所	会頭
遠藤日出夫	長泉町	町長
大石 剛	静岡新聞社	取締役社長
大石 人士	(一財)静岡経済研究所	常務理事
大浦 孝雄	愛車の救急車(有)	代表
大塩 秀樹	黄瀬川自動車学校	代表取締役社長
大須賀紳晃	静岡新聞社	取締役社長室長
太田 克彦	(株)プレーン	取締役社長室長
太田 長八	東伊豆町	町長
大嶽 正泰	宗教法人三明寺	代表役員
大坪 檀	静岡産業大学	総合研究所所長
大野 数芳	(株)大野商店	代表取締役
大橋 弘	(株)静岡銀行沼津支店	執行役員沼津支店長
大村 保二	沼津市商工会	会長
小笠原一夫	宇徳通運(株)	代表取締役社長
小笠原久幸	日本電気(株)沼津支店	支店長
岡野 光喜	スルガ銀行(株)	代表取締役社長
小川 幸弘	静岡県賀茂危機管理局	局長
荻田 勝雄	富士急シティバス(株)	相談役
奥田 一	(株)静岡中央銀行	取締役会長
刑部 治	(有)啓伸社刑部新聞店	代表取締役

氏名	会社名	役職
音羽 徹	日本製紙(株)富士工場	執行役員富士工場長
小野 徹	小野建設(株)	代表取締役
小野登志子	伊豆の国市	市長
小原 佳裕	小原自動車工業(株)	代表取締役
貝原 敏哉	貝原司法書士事務所	代表者
柿島 直人	三島函南農業協同組合	代表理事組合長
影山 桓義	(株)影山運輸	代表取締役会長
河西晋二郎	沼津開発興業(株)	代表取締役
片野 光男	静岡県熱海財務事務所	所長
片淵 典利	(株)港	代表取締役
片山 劫	伊豆総合産業(株)	代表取締役社長
勝又 敏雄	(株)カジマヤ	代表取締役社長
勝又 規雄	ライオンファイル(株)	代表取締役会長
勝間田久嗣	二葉建設(株)	代表取締役社長
勝又 寛治	(株)沼広	代表取締役
勝又 安彦	(株)勝又新聞店	代表取締役
桂 英治	静岡放送	取締役社長
加藤 和彦	(株)コーゲツ	代表取締役
加藤 滋幹	Knt!近畿日本ツーリスト(株)沼津支店	支店長
加藤 修一	(株)加藤工務店	代表取締役
加藤 昌利	(株)ホテル銀水荘	代表取締役社長
加藤瑠美子	(学)加藤学園	副理事長
神尾 啓治	マックスバリュ東海(株)	代表取締役社長
神谷 真好	静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センター	センター長
神谷 義之	静岡県工業技術研究所沼津工業技術支援センター	センター長
河西 幸一	明德建設(株)	代表取締役
川原崎康雄	(株)マキヤ	代表取締役
菊地 広明	大東紡エステート(株)	取締役社長
菊地 豊	伊豆市	市長
杵島 栄二	(有)高商	代表取締役
北岡 貴人	(株)暖香園	代表取締役社長
北村 敏廣	静岡新聞社	取締役専務
木戸 英壽	沼津商工会議所	専務理事
君澤 安生	(株)CF Sコーポレーション	取締役
木村美都子	木村美都子税理士事務所	税理士
楠山 俊介	下田市	市長
栗原 裕康	沼津市	市長
黒崎 泰	三栄レギュレーター(株)	代表取締役
河野 貢	(株)かめや	代表取締役社長

氏名	会社名	役職
小島 一彦	(株)オトワコーエイ	代表取締役
小滝 勝昭	富士信用金庫	理事長
小滝すみ子	(株)三喜	代表取締役
後藤 全弘	(株)ゴトー	相談役
後藤 信昭	沼津市立病院	病院長
後藤 行宏	(株)ゴトー	代表取締役会長
小長井義正	富士市	市長
小林 省吾	(株)小林製作所	代表取締役会長
込山 正秀	小山町	町長
近藤 安敏	近藤鋼材(株)	代表取締役会長
近藤 良夫	近藤良夫会計事務所	所長
齋 秀	(株)東海建設コンサルタント	代表取締役
齋藤 研一	沼津リバーサイドホテル	顧問
齊藤 栄	熱海市	市長
齊藤 大	伊東ガス(株)	代表取締役社長
西頭 徳三	常葉大学富士キャンパス	学長
齋藤 哲一	(株)三幸コーポレーション	代表取締役社長
齊藤 弘幸	(株)東海ソフトウェア	代表取締役社長
齊藤 文彦	松崎町	町長
佐伯 隆彰	(有)佐伯新聞店	代表取締役
坂本 光司	法政大学大学院 政策創造研究課	教授
桜井 孝洋	静岡県田子の浦港管理事務所	所長
佐々木 尋	東京海上日動火災保険(株)静岡自動車営業部	沼津営業課長
佐々木道武	大成有楽不動産(株)浜松営業所	浜松営業所長
佐藤 一彦	静岡県東部危機管理局	局長
佐藤 貢一	米久ベンディング	専務取締役
佐藤 孝行	沼津魚市場(株)	代表取締役社長
佐藤 秀樹	(株)サトウ商会	代表取締役
佐藤 宗徳	(株)佐藤建設	取締役管理部長
佐野 茂樹	青木建設(株)	代表取締役
佐野 正幸	(有)佐野新聞店	代表取締役
佐野雄一郎	スルガコンピューターサービス(株)	代表取締役
塩崎 崇	(有)塩久商店	代表取締役社長
塩野 敏晴	(一財)静岡経済研究所	主席研究員
篠原 寛	富士宮信用金庫	理事長
斯波 幹和	(株)サン	代表取締役社長
清水 郁英	日本通運(株)静岡警送支店	支店長
清水 範己	日本生命保険相互会社	支社長
志村 弘一	静岡県賀茂農林事務所	所長

会員名簿

● 会員 (2014 年度)

氏名	会社名	役職
庄司 清和	(株)時之栖	代表取締役会長
杉山 定久	南富士(株)	代表取締役
杉山 雄一	(株)杉山鉄工	代表取締役
須沢 隆弘	(株)東広	代表取締役
鈴木 和江	観音温泉	代表取締役社長
鈴木 和宏	御殿場高原ビール(株)	代表取締役
鈴木 達也	アフラック沼津支社	支社長
鈴木 経康	沼津情報・ビジネス専門学校	校長
鈴木 文三	サンコー防災(株)	代表取締役
鈴木 道也	南駿農業協同組合	代表理事組合長
鈴木 幸彦	清水物産(株)	代表取締役社長
須田 哲司	(株)MYコミュニケーションズ	代表取締役社長
須藤 秀忠	富士宮市	市長
諏訪部照久	(株)スワベ商会	代表取締役社長
諏訪部敏之	丸善工業(株)	会長
清 哲也	(株)大石組	代表取締役社長
関本 文彦	東海金属工業(株)	代表取締役会長
芹沢 和彦	東タイ(株)沼津工場	工場長
相馬 宏行	河津町	町長
高木 宏通	静岡県下田財務事務所	所長
高瀬 直樹	(株)伊豆新聞本社	代表取締役社長
高田 大輔	ニューデルタ工業(株)	代表取締役社長
高村 謙二	裾野市	市長
滝浪 勇	静岡県東部地域政策局	局長
竹林 圭介	静岡県富士農林事務所	所長
田代 恵子	静岡県富士財務事務所	所長
田代 寿夫	(株)田代新聞センター	代表取締役
只野 晃	総合警備保障(株)沼津支社	支社長
田子 博英	スルガカード(株)	代表取締役社長
立岩 紀尚	西日本電信電話(株)沼津支店	支店長
田中 実	静岡新聞社	東部総局次長兼業務部長
谷川 治	静岡新聞社	常務取締役
田村 治義	ニューウェルサンピア沼津	総支配人
田村 泰樹	積水ハウス(株)沼津支店	支店長
千葉 慎二	(株)鈴木工務店	代表取締役社長
塚本 涼太	キリンビールマーケティング(株)	営業部長
佃 弘巳	伊東市	市長
辻 明久	(有)メイク・エンタープライズ	代表取締役
土屋 順一	東海建設(株)	代表取締役

氏名	会社名	役職
土屋 誠司	(株)富士和	代表取締役会長
土屋 忠博	(株)電業社機械製作所	代表取締役社長
土屋 敏博	(株)東報	代表取締役社長
土屋 俊幸	(株)静岡銀行	常務執行役員東部カンパニー長
土谷 直人	ニッセー防災(株)	代表取締役
土屋 紀雄	(株)土屋建設	代表取締役
土屋雄二郎	雄大(株)	代表取締役
土屋龍太郎	土屋建設(株)	社長
堤 親朗	(株)イブラシ	代表取締役
都瑠 浩司	(株)関電工静岡支社	執行役員静岡支社長
寺崎 啓介	住友生命保険相互会社沼津支社	支社長
土井 宣博	(株)雅心苑	代表取締役社長
土居 弘幸	岡山大学大学院	教授
土村 暁文	静岡県東部地域政策局	次長
豊岡 武士	三島市	市長
鳥居 清美	(株)エイワンススポーツプラザ	代表取締役
永倉 聡	沼津通運倉庫(株)	代表取締役社長
長澤 一成	(株)耕文社	代表取締役社長
長島 郁夫	沼津埠頭(株)	代表取締役
中島 達也	SMBCH日興証券(株)沼津支店	支店長
中嶋 三恵	(株)山六ひもの店	代表取締役
中島 幹雄	(一社)熱海市観光協会	代表理事
中西 芳弘	静岡県沼津財務事務所	所長
中村 仁	伊豆箱根鉄道(株)	代表取締役社長
中山 勝	(一財)企業経営研究所	常務理事
西島 昭男	(株)シード	代表取締役
西島 洋司	医療法人社団親和会西島病院	理事長
西谷 誠	静岡県富士土木事務所	所長
新田恭一郎	(株)ホテルサンパレー	代表取締役
菲澤 敬	静岡県賀茂地域政策局	局長
丹羽 亨	(株)大丸松坂屋百貨店 松坂屋静岡店	店長
野坂 周子	国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所	事務所長
野村 玲三	(株)野村商店	代表取締役社長
服部巖一郎	(株)チキリ	代表取締役社長
花房 孝光	(株)はなぶさ旅館	代表取締役
羽野 久雄	羽野水産(株)	代表取締役会長
林 和子	ハヤシ工業(株)	代表取締役
原 和也	静岡新聞社	取締役東部総局長
原 浩之	(学)原学園専門学校白寿医療学院	理事長

氏名	会社名	役職
原口 茂	富士商事(株)	代表取締役
一杉 真城	ヒトスギ塾	会長
日比野勇志	野村證券(株)沼津支店	支店長
日向 秀二	(株)日弘商会	代表取締役
兵藤 真一	MOAインターナショナル	広報担当
日吉 晴久	(株)テクノサイエンス	代表取締役
平井 克弘	スルガ銀行(株)	執行役員本店長
福島 和幸	静岡県賀茂健康福祉センター	所長
藤井 武彦	西伊豆町	町長
古郡 眞二	(有)マルニ茶業	代表取締役
古屋 英将	(株)ミロク	代表取締役
堀田 大洋	沼津信用金庫	相談役
堀内光一郎	富士急行(株)	取締役社長
堀口 武彦	大同工業(株)	代表取締役
増島 清治	丸忠デジタル(株)	代表取締役
松井 純	静岡新聞社・静岡放送	取締役会長
三浦 洋一	大和ハウス工業(株)沼津支店	支店長
三澤 清利	特種東海製紙(株)	代表取締役社長
水崎 充	ネットヨタスルガ(株)	代表取締役社長
峰田 武	(公財)佐野美術館	理事長
宮尾 賢一	(株)損保ジャパン静岡支店沼津支社	支社長
宮下 功	米久(株)	代表取締役社長
宮本 修	(株)キクチ	代表取締役
三輪 俊城	ホテル沼津キャッスル	代表取締役
村上 昇男	(株)落合楼村上	代表取締役
村田 潔春	(株)SBS プロモーション	取締役社長
村松 重治	静岡新聞社	取締役営業局長
村松 夏夫	静岡新聞社	常務取締役
室伏 勝宏	みしまプラザホテル	代表取締役
最川 治久	(株)モガワ	相談役
望月 由郎	(株)SBS 情報システム	代表取締役社長
森 延彦	函南町	町長
森 久人	(有)アラリシップビルダーズ	代表取締役
森 正憲	(株)安心堂沼津店	店長
森崎 祐治	静岡コンサルタント(株)	代表取締役
森田 尚孝	静岡県熱海土木事務所	所長
矢田 利雄	沼津米穀卸(株)	代表取締役社長
矢田部盛男	三嶋大社	宮司
柳下 福蔵	(独)国立高等専門学校機構 沼津工業高等専門学校	校長

氏名	市町	役職
山内 倭子	(株)東興	代表取締役
山形 武弘	(社)三島市観光協会	会長
山下 郁夫	(株)三鮮商事	代表取締役
山田 憲市	(株)コスモスケアサービス	代表取締役
山中 利之	(株)山中兵右衛門商店	代表取締役
山本 信行	(株)太平エンジニアリング沼津支店	執行役員支店長
山本 博保	清水町	町長
山本 弥之	(株)太洋社	代表取締役
山本 浩義	アスルクラロスルガ(株)	代表取締役
山本 倫弘	税理士法人奈良橋・山本会計事務所	代表社員
横山 滋	サンワフーズ(株)	代表取締役専務
横山 秀雄	静岡新聞社	読者プロモーション局長
吉田 徹	富士通(株)静岡東部支店	支店長
若林 洋平	御殿場市	市長
和久田恵子	(株)ダイワ・エム・ティ	代表取締役社長
渡辺 国義	静岡県中小企業団体中央会東部事務所	所長
渡辺幸一郎	(株)三島新聞堂	代表取締役
渡辺 忠昭	三島商工会議所	専務理事
渡邊武一郎	日本大学国際関係学部	学部長
渡辺 光和	ネットヨタ静岡(株)	代表取締役社長

幹事 (50音順、敬称略)

氏名	会社名	役職	住所
遠藤 敏東	富士商工会議所	会頭	富士市
岡野 光喜	スルガ銀行(株)	代表取締役社長	沼津市
奥田 一	(株)静岡中央銀行	取締役会長	沼津市
北岡 貴人	(株)暖香園	代表取締役社長	伊東市
常峰 啓史	(株)静岡銀行	常務執行役員東部カンパニー長	沼津市
宮下 功	米久(株)	代表取締役社長	沼津市
堀田 大洋	沼津信用金庫	理事長	沼津市
三澤 清利	特種東海製紙(株)	代表取締役社長	駿東郡
峰田 武	(公財) 佐野美術館	理事長	三島市
矢田部盛男	三嶋大社	宮司	三島市

<アドバイザー>

大坪 檀	静岡産業大学	総合研究所所長
坂本 光司	法政大学大学院 政策創造研究課	教授
土居 弘幸	岡山大学大学院	教授

運営委員 (50音順、敬称略)

氏名	会社名	役職	住所
井口 賢明	あさひ総合法律事務所	所長	沼津市
池田 誠	池田病院	院長	駿東郡
伊東 哲夫	伊東法律事務所	所長	沼津市
宇野 統彦	(株)桃中軒	代表取締役会長	沼津市
小野 徹	小野建設(株)	代表取締役	三島市
片山 劫	伊豆総合産業(株)	代表取締役社長	伊東市
勝又 規雄	ライオンファイル(株)	代表取締役会長	裾野市
諏訪部照久	(株)スワベ商会	代表取締役社長	駿東郡
土屋 紀雄	(株)土屋建設	代表取締役	下田市
西島 昭男	(株)シード	代表取締役	三島市
羽野 久雄	羽野水産(株)	代表取締役会長	沼津市
一杉 真城	ヒトスギ塾	会長	沼津市
室伏 勝宏	みしまプラザホテル	代表取締役	三島市

< TESS 構成員 >

西島 昭男	(株)シード	委員長
井口 賢明	あさひ総合法律事務所	顧問
羽野 久雄	羽野水産(株)	顧問
宇野 統彦	(株)桃中軒	委員
小野 徹	小野建設(株)	委員
諏訪部照久	(株)スワベ商会	委員
青山 茂	(株)シード	研究員
塩野 敏晴	(一財) 静岡経済研究所	研究員
中山 勝	(一財) 企業経営研究所	研究員
三沢 泰	静岡県東部地域政策局	研究員
山田 琢也	静岡県賀茂振興局	研究員



2014年度を振り返って

サンフロント21懇話会 運営委員長
あさひ総合法律事務所 所長

井口 賢明

「税」。2014年の漢字です。毎年、日本漢字能力検定協会が全国から公募して一番得票が多く、その年のイメージを表す漢字とされています。昨年は4月に消費税率が17年ぶりに5%から8%に引き上げられ、個人消費は駆け込み需要の反動もあり、落ち込みました。

その後、日銀は10月末に脱デフレの正念場として、1年間に市場に流す資金量を追加する金融緩和を行い、以後、円安、株高の傾向が続いています。日本経済にとってプラスとなる原油安を生かし、安倍政権には景気回復を広く波及させ、1日も早く、地方や中小企業が経済活性化を実感できるよう取り組んでいただきたいと思います。また、重要政策である「地方創生」の推進はいうまでもありません。

いずれにせよ、昨年は、税が国民生活の動向を大きく左右する重要な要因であることをあらためて認識した1年でした。

こうしたなか、設立20年となったサンフロント21懇話会は伊豆、東部、富士の3地区において「伊豆縦貫道整備」「人と動物との共生」「夜景による地域活性化」をテーマに、観光振興と地域住民の安全・安心を支える社会資本の必要性、新たな地域活性化を目指す施設の意義と課題、工場夜景という新たな観光資源の可能性などを訴え、近未来を展望しました。

2015年はどんな年になるのでしょうか。叶うならば「明」もしくは「輝」という年になってほしいものです。「明」「輝」にふさわしい、活力にあふれた日本を代表する地域として、その象徴的な活動に挙げられるような取り組みをサンフロント21懇話会から発信したいと願っています。時代の変化を的確にとらえ、東部地区の人々に希望を与えるような提言、支援活動を展開していきましょう。そのためには、従来の枠組み、概念にとらわれない大胆な発想や智恵、工夫が必要です。会員の皆様方のさらなるご支援、ご協力をお願いします。